第２学年国語科学習指導案

名護市立屋部小学校　２年３組２７名

授　業　者　　　　　大　城　　直　美

　１　単元名　めざせしょくぶつはかせ！このちえ、すみれと同じちえ！ちがうちえ！

教材名「すみれとあり」（教育出版２年上）

　　　　　　　補助教材「もみじのつばさ」「オナモミのとげ」「ドングリとリス」「サクラの絵本」

「ホウセンカ」

２　単元目標

・すみれと自分が選んだ植物の共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。【知・技(2)ア】

　　　　・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、すみれが発芽するための内容の大体を捉えることができる。【思・判・表Ｃ読むことア】

・すみれや他の植物の知恵を読みとるために、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。【思・判・表Ｃ読むことウ】

・すみれや他の植物の知恵を読み取り、自分の考えをもつことができる。

【思・判・表Ｃ読むことオ】

・友だちの発表を聴いたり友だちと対話したりする中で感じたことや分かったことを伝え合うことができる。【思・判・表Ｃ読むことカ】

・すみれや他の植物の知恵について、興味関心を持って調べ、必要な情報を選びながらまとめることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １すみれとたんぽぽ、自分の選んだ植物の共通点や相違点に気づいている。(2) | ❶時間や事柄の順序を押さえ、内容の大体や成長過程を読んでいる。読(ア)  ❷目的に応じての重要な語や文を選んでいる。読(ウ)  ❸読み取った植物の知恵をまとめている。読(オ)  ❹対話で感じたことや分かったことを共有している。  読(カ) | ㋐聴き方や交流の方法が分かり主体的に話を聴こうとしている  ㋑学習内容に興味を持ち、学習を見通すことができる。  ㋒自分の考えを３年生に意欲的に伝えようとしている。 |

４　単元について

（1） 児童観

　　 本学級の児童は、第1学年の単元「うみへのながいたび」において、お気に入りの写真を見つけ、白くまの親子の気持ちを想像したことを吹き出しに書いて発表する学習をしている。

　 　アンケート調査では、交流学習において、「友だちの話していることがわかるか」の問いに対して、８割が分かると答えた。２割が分からないと答えた理由には、「声が聞こえない」や「何を話しているか分からない」があげられた。また、「友だちに自分の考えが伝わったと思うか」の問いには、約半数が「伝わっていない」と感じていることが分かった。その理由は、「何を話したらいいかがわからない」や「自分の思っていることを言葉にするのが難しい」を選んでいた。このことから、交流の際のルール作りや交流の目的を明確に伝えることを大切にし、学習を進めていくこととする。

　　 情報を抜き出す問題では、共通点・相違点を抜き出すことができた児童が、クラスの６割だった。残りの４割は問われていることがわからないようで、そのほとんどが無答だった。そこで、問題の意味を把握し、情報を絞り込んでいく過程を丁寧に取り組んでいく。読書については、全員が好きと答えたが、植物の本を読んでいると答えた児童はいなかった。本単元で植物の本を扱うことで、読書の幅を広げることも意識したい。

（2） 単元観

　　　　本単元は、学習指導要領「C読むこと」の指導事項「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと」と関連させて､共通・相違・事柄の順序などを手がかりに「情報と情報との関係」について理解できる言語活動を設定した単元を構想する。

　　 第1次では、対話で生まれるコミュニケーションの前段階として、聴く力を育てるため、対話についてのオリエンテーションを行う。また、教師が身近な植物の種について紹介することで植物の知恵に興味を高める。その上で、３年生に植物の知恵を紹介するという目的に向かって学習計画を立て、学習の見通しをもたせる。

　　 第２次では、説明的文章「すみれとあり」を読み、すみれが知恵を働かせているのは仲間を増やすためであることに気付き、植物の知恵について関心を持つ。そして、必要な情報を選ぶ力を育むために、「すみれとあり」の学習後、光村図書の「たんぽぽのちえ」を同一教材として扱い、教科書教材での学びを確認する反復的学習を行う。

第３次では、第２次での学びを生かし、自分の選んだ植物の知恵についてまとめる。学習を図書館の本に発展させることで、情報を選ぶ力が育成されたかを見取る。その際、選書した本の中から興味をもった植物を選ばせるようにする。

　 （3） 指導観

　　　　本単元で目指す資質・能力は、「目的に応じて必要な情報を抜き出す力」「抜き出した情報を使って、自分の考えを伝える力」の２つである。このような力を育むために、まず、本時で身に付けさせたい力が何かを考え、ねらいを明確化する。次に、全文を読みながら必要な情報を選ぶ力を育むことができるような学習課題を設定し、ねらいと一致させることで学習内容を焦点化する。それを解決するための手掛かりとなる言葉について洗い出し、解決の手立てとなるよう視覚化することを意識したワークシート等を作成し、指導を具体化していく。

　　　　交流場面では、ペアでの対話を取り入れ、自分の考えを伝えたり、自分の考えと友だちの考えを比較しながら聴いたりする活動を仕組む。その際、叙述を基に自分の考えを伝えることができるように全文シートの活用など視覚化した教材の工夫を図る。必要な情報を選ぶ手掛かりや手立てを工夫し、交流の目的を明確にすることで、目的に応じて必要な語や文章を抜き出すことのできる児童の育成を目指す。

５　単元の指導計画と評価計画(全13時間)

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | |  | 〇学習目標 | ◎学習課題 | 情報  の扱い方 | 指導上の留意点  ◇必要な情報を自ら選ぶ為の手がかり  ★必要な情報を自ら選ぶ為の手立て | 評価規準  めざす子どもの姿①② |
| 第一次 | 1 | 単元のゴールを意識した言語活動　めざせ植物博士！この知恵すみれと同じ知恵！違う知恵！ | ○交流についてのオリエンテーションをもつ。 | ◎交流で大切なことってなあに？ |  | ・聴き方名人やスライドで対話の方法について話し合う。 | 主㋐　①聴き方名人に　なるための目標を選ぶ　ことができる。 |
| ２ | ○単元のゴールを見通し学習計画を立てる。 | ◎知恵って何だろう？どんな学習をするのだろう? |  | ・植物の知恵を紹介する活動を見通し意欲を高める。 | 主㋑　①知恵について　自分の考えが持てる。 |
| 第二次 | ３ | ○教材文の内容の大体を読み、すみれの知恵を抜き出す。 | ◎すみれの知恵はいくつあるのかな？ | 理由 | ・俯瞰した読みができるようにする。  ◇文意識を持つ  ◇主語・述語を見付ける  ★全文シート | 思判表❸　①内容の大　体が分かり、すみれの　知恵を抜き出すことが　できる。 |
| ４ | ○時間や事柄の順序を考えながらすみれの成長過程を読む。 | ◎すみれはどんな順序で種をとばすかな？ | 順序 | ・言葉と写真を照らし合わせながら時や事柄の順序を捉えるようにする。  ◇時や事柄を表す言葉  ◇情報の見つけ方  ★短冊、写真、掲示物 | 思判表❶　①時や事柄を捉え、写真と文で種をとばす順序をまとめることができる。 |
| ５  本時 | ○文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。 | ◎すみれは、どうしてこんな場所に咲いているのかな？ | 理由 | ・すみれの発芽とありとの関係を読む  ◇意味段落、指示語、主語・述語  ★全文シート | 思判表❷　①答えが書かれている段落が分かり、重要な語を抜き出すことができる。 |
| ６ | ○時間や事柄の順序を考えながらたんぽぽの知恵を選び出す。 | ◎たんぽぽの知恵はいくつあるのかな？ | 理由 | ・俯瞰した読みができるようにする。  ◇文意識を持つ  ◇主語・述語を見付ける  ★全文シート | 思判表❸　①内容の大体が分かり、たんぽぽの知恵が抜き出すことができる。 |
| ７ | ○文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。 | ◎たんぽぽは、どうして背伸びをするようにぐんぐん伸びるのかな？ | 理由 | ・文章の中の重要な語句や文を考えて答えをまとめるようにする。  ◇重要な語や文を抜き出す  ◇形式段落にわける  ★短冊、絵、掲示物 | 思判表❷　①答えが書かれている段落から重要な語を抜き出すことができる。 |
| ８ | ○すみれとたんぽぽの共通点、相違点について考える。 | ◎たんぽぽの知恵は、すみれの知恵と同じかな？違うかな？ | 共通  相違 | ・知恵カードをもとに比較し、くらべっこボードに出し合う。  ◇共通点・相違点に気づく  ★くらべっこボード  ★くらべっこシート | 知技　１　①②すみれとたんぽぽの知恵を見　比べて、共通点・相違　点をまとめている。 |
| 第三次 | ９ | ○時間や事柄の順序を考えながら選んだ植物の知恵を選び出す。 | ◎自分の選んだ植物にはどんな知恵があるかな？ | 理由 | ・俯瞰した読みができるようにする。  ◇文意識を持つ  ◇主語・述語を見付ける  ★全文シート | 思判表❸　①内容の大　体が分かり、選んだ植　物の知恵が抜き出すこ　とができる。 |
| 10 | ○文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。 | ◎どんな問いがいいかな？どんな答えになるかな？ | 理由 | ・文章の中の重要な語句や文を考えて答えをまとめるようにする。  ◇重要な語や文を抜き出す  ◇形式段落にわける★全文シート | 思判表❷　①答えが書かれている段落から重要な語を抜き出すことができる。 |
| 11  本時 | ○すみれと自分の選んだ植物の共通点、相違点について考える。 | ◎自分の選んだ植物の知恵は、すみれの知恵と同じかな？違うかな？ | 共通  相違 | ・知恵カードをもとに比較し、くらべっこボードに出し合う。  ◇共通点・相違点に気づく  ★くらべっこボート  ★くらべっこシート | 知技　１　①②すみれと自分の植物の知恵を　見比べて、共通点・相　違点をまとめている。 |
| 12 | ○共通点、相違点を相手に伝えるにはどうすればよいか交流する。 | ◎どうやったら伝わるのかな？ |  | ・話し手は聞き手に伝わるように知恵カードを示しながら話すようにする  ◇共通点・相違点に気づく | 思判表❹　➁共通点・　相違点に着目し、自分　の考えを伝えることが　できる。 |
| 13 | ○単元を通して学んだことを三年生に伝える。 | ◎３年生に植物の知恵の何をどうやって伝えるのかな？ | 共通  相違 | ・発表が聴き取りやすいような場の設定を行う。  ◇共通点・相違点を伝える  ★ちえカード | 主㋒　➁知恵や共通点・相違点等を三年生に伝えることができる。 |

５　本時の学習

（1）展開（1／13時間）

①目標　　交流についてのオリエンテーションをもつ。

②本時の授業の工夫　　聴き方名人やスライドで対話の方法について話し合う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　聞く、聴く、訊くの違いについて考える。  ２　本時のめあてを確認する。 | ・未習の漢字を提示するので、読み方や筆順にもふれる。  ・目と耳と心で聴くことを目指していくことを理解させる。  学習のめあて　　交流で大切なことってなあに？ | 【主体的に学習に取り組む態度】㋐  ①聴き方名人になるための目標を選ぶことができる。  **〈おおむね満足〉**  対話の際の聴き方がわかる。  **〈十分満足〉**  提示した聴き方の視点から自分の目標を選ぶことができている。  （ふりかえり・観察） |
| 展開（　　）分 | ３　ホップ  聴き方名人になるための  ポイントについて確認する。  ４　ステップ  交流の時に使う話型について説明する。  ５　ジャンプ  　　めざす交流の動画をみる | ・聴き方名人の説明をしながら、交流で使える話形についても説明していく。  ・実際に聴き方を体験させながら進めていく。  ○交流で大切なことは何だろう  ・動画を見て、いいところやまねしたいところの視点でペア交流する |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  まとめ　これから　　　　　　　　　　　　　　　　　で聴きたいです。  ７　ふりかえり | ・これから何に気をつけて聴くか、目標を立てる。  視点　オリエンテーションを受けて、わかったこと。これから頑張りたいこと。 |

（1）展開（２／13時間）

①　目標　　単元のゴールを見通し学習計画を立てる。

②　本時の授業の工夫　　植物の知恵を紹介する活動を見通し、意欲を高める。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　）分 | １　センダングサの種を紹介する。  ２　単元のゴールを知る。 | ・実際に、軍手についている種を見せ、興味を持たせる。  ○オオバナノセンダングサの種はどうして軍手にひっつくのだろう  ・言語活動のモデルを示しながら、植物のもつ知恵について考えていくことを伝える。 | 【主体的に学習に取り組む態度】㋑  ①知恵について自分の考えが持てる。  **〈おおむね満足〉**  知恵は工夫していることといった内容がふりかえりに書けている。  **〈十分満足〉**  　　ふりかえりに調べてみたい植物名を書くことができる。  」　（まとめ、ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  　「すみれとあり」を範読する。  ４　ステップ  　「すみれとあり」の内容の大体をとらえる。  ５　ジャンプ  　　学習計画をたてる | ・すみれについて知っていることを出し合い興味を持たせる。  ・範読後にすみれとありクイズをすることを伝え、内容の大体を読み取ることに視点を持たせて聴くよう声かけする。  ○いつ頃花が咲くのか、何について説明した文章なのか、何が出てくるのかについてクイズを出す。  ・解答するために教科書にもどること、ペアで相談し合うことを意識させる。  ・すみれの工夫について気づき、すみれの知恵を説明している文章だと捉えられるようにする。  ○すみれのようにセンダングサにも知恵があるのかな。  ・教科書教材と活用教材が関連することを意識する。  ・学習の見通しを持たせるため、教師がリードしながら、学習計画を立てる。 |
| まとめ | ６　ふりかえり | 視点　初めて知ったことやこれから調べてみたい植物について書く。  ◇すみれについてすごいと感じた内容を選ぶ力 |

（1）展開（３／13時間）

①　目標　　教材文の内容の大体を読み、すみれの知恵を抜き出す。

②　本時の授業の工夫　　俯瞰した読みができるようにする。

◇文意識を持つ◇主語・述語を見付ける　★全文シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　前時の振り返りを紹介する  ２　本時のめあてを立てる。  学習のめあて　　すみれの知恵は、いくつあるのかな？ | ・本時のめあてを立てるために、前時の振り返りを取り上げる。 | 【思考・判断・表現】  読むことア・ウ  ❶時間や事柄の順序をおさえ、内容の大体や成長過程を読んでいる。読(ア)  ❷目的に応じての重要な語や文を選んでいる。読(ウ)  **〈おおむね満足〉**  内容の大体がわかり、すみれの知恵を抜き出せている。  **〈十分満足〉**  　　すみれの知恵を見つけた方法がふりかえりに書ける。  （全文シート  ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  知恵がいくつあるか自分の考えを持つために全文を音読する。  ４　ステップ  　　見つけた知恵をペアで確認し合う　★ペア  ５　まとめ  　　すみれの知恵がいくつあるかを確認する　★全体  ６　ジャンプ  すみれの知恵を確認  する。 | ・知恵がいくつあるかを予想させ、確認するために読むという目的を持たせる。  ・知恵だと思うところに線を引きながら読むよう声かけする。  ・ペアで確認する際に便利なようにあらかじめ形式段落に番号をうっておく。形式段落の意味についても確認しておく。  ・交流の方法を提示する。  まとめ　すみれの知恵は３つある。  ①よく晴れた日に、みは、３つにさけてひらく  ②みの中から、たねがいきおいよくとびだす。  ③ありのすきな白いかたまりをたねにつけて、はこんでもらう。 |
| まとめ（）分 | ７　ふりかえり | 視点　どうやったら、すみれの知恵を見つけることができたか。（手がかりになった言葉、友だちの考えなど） |

（1）展開（４／13時間）

①　目標　　時間や事柄の順序を考えながらすみれの成長過程を読む。

②　本時の授業の工夫　　言葉と写真を照らし合わせながら時や事柄の順序を捉えるようにする。◇時や事柄を表す言葉◇情報の見つけ方　★短冊、写真、掲示物

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　）分 | １　前時の振り返りを紹介する  ２　本時のめあてを立てる。  学習のめあて　　すみれはどんな順序で種をとばすかな？ | ・三つの知恵を抜き出したことについて触れ、すみれが種を飛ばすまでの順序について理解しているか振り返らせる。 | 【思考・判断・表現】  読むことア・ウ  ①時や事柄を捉え、写真と文で種をとばす順序をまとめることができる。  **〈おおむね満足〉**  　時や事柄を捉え、写真と文で種をとばす順序が表せている  **〈十分満足〉**  　　すみれの知恵を２種類に分類できている。  （ワークシート） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  　　絵と文をマッチングさせながらすみれの成長過程を読み取る  ４　ステップ  たねをとばずじゅんじょを動作化等で確認する。  ５　ジャンプ  みつけた知恵を仲間分けし、ワークシートにまとめる。 | ○たねをとばすじゅんじょがわかるところはどのまとまりかな。  ・文カードと写真カードを操作する際は、叙述をもとにすることを意識させる。◇事柄を表す言葉を見付ける力  ○たねをとばすのは、いつでもいいのかな？  ・時を表す言葉を視覚で囲みながら、見つけていく。  ◇時を表す言葉を見付ける力  ・主述を押さえながら、とばす順序を確認し動作化することで内容の理解を深める。  ・たねをとばすときに働かせている知恵と結びつけさせる。  ○何のためにすみれは、このような知恵を働かせているのかな？  ○この知恵とこの知恵は同じ仲間の知恵かな。  ・どんな目的のための知恵なのかを考え、ネーミングし、表に分類する。◇共通点や相違点に気づく力  たねを近くにとばす知恵　　種を遠くに運んでもらう知恵 |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  ７　ふりかえり | まとめ　　すみれは、晴れた日に、実が３つにさけて、たねがいきおいよくとびだす  視点　すみれがどんな順序で種をとばしたかをみつけるにはどうしたか。（手がかりになった言葉、友だちの考えなど） |

（1）展開（５／13時間）本時①

①　目標　　文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。

②　本時の授業の工夫　　すみれの発芽とありとの関係を読む

◇意味段落、指示語、主語・述語　　★全文シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　「すみれとあり」の問いに着目する。  ２　ホップ  　　ありがしたことをまとめる | ・説明的文章には、読み手を引きつけるような問いが立てられていることを確認する。  ・問いについての答えを予想させる。  ○ありが、どう関係しているのかな？  ・問いの答えが書かれている段落を見つけるために意味段落を意識させる  ・主語に着目しながら、種に対してありがしたことにナンバリングする。  ◇意味段落を見付ける力　◇主語・述語を見付ける力 | 思判表❷　①答えが書かれている段落が分かり、重要な語を抜き出すことができる。  **〈おおむね満足〉**  答えが書かれている段落がわかり、そこから重要な語を抜き出せている。  **〈十分満足〉**  問いに対する答えを見つけた方法がわかっている  （ワークシート  ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　本時のめあてをたてる。    学習のめあて　　すみれは、どうしてこんな場所に咲いているのかな  ４　ステップ  　　文を取り出しながら、答えにつながる大事な文を抜き出す。  　　★個→ペア交流  ５　ジャンプ  　　答えになる大事な文はどれかを話し合う。★全体交流 | ・ありがしていることが、すみれの発芽にどのような関係があるのかに気づかせる  ・問いの答えが書かれている意味段落に気づかせる。  ・文章の中の重要な語句や文を考えて、答えをまとめるようにする  ◇重要な言葉や文を抜き出す力  ・自分の考えを説明する際は、叙述に戻ることやそれを選んだ理由を伝えられるように声かけする。  ・児童が見つけた文を取り上げ、重要な文とするポイントを確認しながら見つけていく。  ・必要な情報を抜き出す手順を確認する。  まとめ　　すみれは、ありのすきな白いかたまりをたねにつけて、いろいろな  場所にはこんでもらうから。 |
| まとめ（）分 | ６　まとめ  ７　ふりかえり | 視点　問いに対する答えはどうやったら見つけられたか。  （手がかりになった言葉、友だちの考えなど） |

（1）展開（６／13時間）

①　目標　　時間や事柄の順序を考えながらたんぽぽの知恵を選び出す。

②　本時の授業の工夫　　俯瞰した読みができるようにする。

◇文意識を持つ◇主語・述語を見付ける　★全文シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　）分 | １　すみれの知恵を想起する。    ２　本時のめあてを立てる。  学習のめあて　　たんぽぽの知恵はいくつあるのかな？  ？ | ・これからの学習にすみれの学習方法の反復になっていることに気づかせる。 | 【思考・判断・表現】  読むことア・ウ  ❶時間や事柄の順序をおさえ、内容の大体や成長過程を読んでいる。読(ア)  ❷目的に応じての重要な語や文を選んでいる。読(ウ)  **〈おおむね満足〉**  内容の大体がわかり、たんぽぽの知恵を抜き出せている。  **〈十分満足〉**  　　たんぽぽの知恵を2種類に分類できている  　　・たねを自分で近くにとばす知恵  ・種を遠くに運んでもらう知恵  （ワークシート  　ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  知恵がいくつあるか自分の考えを持つために全文を音読する。  ４　ステップ  　　見つけた知恵をペアで確認し合う　★ペア  ５　ジャンプ  　　みつけた知恵を仲間分けし、ワークシートにまとめる。 | ・知恵だと思うところに線を引きながら読むよう声かけする。  〇すみれのちえは、どのまとまりに書かれていたのかな。  ・前時までの学習を振り返り、知恵は「中」に書かれていたことに気づかせる。  ・ペアで確認する際に便利なように形式段落に番号をうっておく。  ・形式段落の意味について確認する。  ○どうしてたんぽぽは、このような知恵を働かせているのかな？  ・どんな目的のための知恵なのかを考え、表に分類する。 |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  ７　ふりかえり | まとめ　①花はしぼんでくろっぽくなる。  ②じくはぐったりとじめんにたおれる。  ③せいを高くする  ④しめり気の多い日や雨ふりの日には、らっかさんはすぼんでします。  ①と②は、たねを自分で近くにとばす知恵　　③と④は、種を遠くに運んでもらう知恵  視点  視点　どうやったら、たんぽぽの知恵を見つけることができたか。  　　　（手がかりになった言葉、友だちの考えなど） |

（1）（７／13時間）

①　目標　　文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。

②　本時の授業の工夫　　文章の中の重要な語句や文を考えて答えをまとめるようにする。

◇重要な語や文を抜き出す◇形式段落にわける　★短冊、絵、掲示物

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　前時の振り返りを紹介する  ２　２　本時のめあてを立てる。 | ・４つの知恵を抜き出したことについて触れ、たんぽぽが種を飛ばすまでの順序について理解しているか振り返らせる。  ・「なぜ、こんなことをするのでしょう。」の「こんなこと」の指す意味を考え、問いを作る。◇指示語について理解する。  学習のめあて　　たんぽぽは、どうして背伸びをするようにぐんぐん伸びるのかな？ | 思判表❷　①答えが書かれている段落から重要な語を抜き出すことができる。  **〈おおむね満足〉**  答えが書かれている段落がわかり、そこから重要な語を抜き出せている。  **〈十分満足〉**  問いに対する答えを見つけた方法がわかっている  （ワークシート  ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  たんぽぽが起き上がる様子をまとめる。  ４　ステップ  　　文を取り出しながら、答えにつながる大事な文を抜き出す。　　★個→ペア交流  ５　ジャンプ  　　答えになる大事な文はどれかを話し合う。★全体交流 | ・時を表す言葉に着目しながら、起き上がる様子を捉えられるようにする。  ・文章の中の重要な語句や文を考えて、答えをまとめるようにする  ◇重要な言葉や文を抜き出す力  ・自分の考えを説明する際は、叙述に戻ることやそれを選んだ理由を伝えられるように声かけする。  ・せのびすることが、たんぽぽの発芽にどのような関係があるのかに気づかせる  ・児童が見つけた文を取り上げ、重要な文とするポイントを確認しながら見つけていく。・必要な情報を抜き出す手順を確認する。 |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  ７　ふりかえり | まとめ　　せいを高くするほうが、わた毛に風がよくあたって、たねをとおくまでとばすことができるからです。  〇何のために、このような知恵を働かせているのかな。  ・新しい仲間を増やすための知恵であることに気づかせる。  視点　問いに対する答えはどうやったら見つけられたか。  　（手がかりになった言葉、友だちの考えなど。） |

（1）展開（８／13時間）

①　目標　　すみれとたんぽぽの共通点、相違点について考える。

②　本時の授業の工夫　　知恵カードをもとに比較し、くらべっこボードに出し合う。

◇共通点・相違点に気づく　★くらべっこボード・くらべっこシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | 1　すみれとたんぽぽの知恵を想起する。  2　本時のめあてを立てる。 | ・共通点、相違点を気づく視点を持つ。  言語活動のゴールにせまるための学習になっていることを再確認する。  学習のめあて　　たんぽぽの知恵は、すみれの知恵と同じかな？違うかな？ | 知技　１　①②すみれとたんぽぽの知恵を見　比べて、共通点・相違　点をまとめている。  **〈おおむね満足〉**  　すみれとたんぽぽの知恵を見比べて、共通点・相違点をまとめている。  **〈十分満足〉**  　　すみれとたんぽぽの知恵の共通点・相違点をワークシートにわかりやすくまとめている。  　（ノート、  ワークシート） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  　　くらべっこシートの使い方を知る。  ４　ステップ  すみれとたんぽぽの知恵の共通点、相違点を見つける。  ★個→ペア  ５　ジャンプ  すみれとたんぽぽの知恵の共通点、相違点について話し合う★全体 | ・りんごとバナナの共通点、相違点を見つけ、ワークシートに書く方法を確認する。  ・すぐにワークシートにまとめるのではなく、ノートに書き出し、話し合う。  ◇共通点・相違点に気づく力  ・くらべっこシートを使い、共通点や相違点を視覚化する。 |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  まとめ　同じ知恵　・仲間を増やすための知恵であること　　・天気に影響されること  　　　　　　　　　・誰かの力をかりないと遠くにとばせない。  　　　　違う知恵　・すみれは、あり。たんぽぽは、風。等    ７　ふりかえり | ・くらべっこシートにまとめる。  視点　共通点、相違点を見つける中でわかったこと、わからなかったこと（手がかりになった言葉、友だちの考えなど。） |

（1）展開（９／13時間）

①　目標　　時間や事柄の順序を考えながら選んだ植物の知恵を選び出す。

②　本時の授業の工夫　　俯瞰した読みができるようにする。

◇文意識を持つ◇主語・述語を見付ける　★全文シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問　◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　前時までの学習を振り返る。  ２　本時のめあてを立てる。 | ・これまでの学習を振り返り、言語活動のゴールを確認しながら、自分の選んだ植物について調べていくことへの意欲を高める。  ・同じ植物を選んだ友だちとグループを作れるようにしておく。  学習のめあて　　自分の選んだ植物の知恵は、いくつあるのかな？ | 思判表❸　①内容の大体が分かり、たんぽぽの知恵が抜き出すことができる。 |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  知恵がいくつあるか自分の考えを持つ。  ４　ステップ  　　見つけた知恵をペアで確認し合う　★ペア  ５　ジャンプ  　　みつけた知恵を仲間分けし、ワークシートにまとめる。 | ・知恵だと思うところに線を引きながら読むよう声かけする。  ◇重要な語や文を抜き出す力  ・同じ植物を選んだペアで知恵について確認しあう。  ・叙述を指さしながら、自分の考えを話せるように声かけする。  ・自分の考えと友だちの考えの共通点、相違点を意識させ、いいと思った知恵は付け加えるよう声かけする。  ・２つの視点以外の知恵は、ノートに書き出しておく。  ○どうして選んだ植物はこのような知恵を働かせているのかな？  ・この問いについて考えるよう声かけす |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  　　選んだ植物の知恵がいくつあるかを確認する　★全体。  まとめ　それぞれのワークシートにまとめる。  ７　ふりかえり | 〇選んだ植物の知恵は何個ありましたか。  ・選んだ植物の知恵をワークシートにまとめる。  視点　どうやったら、選んだ植物の知恵を見つけることができたか。（手がかりになった言葉、友だちの考えなど） |

（1）展開（10／13時間）

①　目標　　文章の中の重要な語や文を考えて、問いの答えを抜き出す。

②　本時の授業の工夫　　文章の中の重要な語句や文を考えて答えをまとめるようにする。

◇重要な語や文を抜き出す◇形式段落にわける　★全文シート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  　◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | １　前時の学習をふり返る。  ２　本時のめあてをたてる。 | ・仲間を増やすための知恵で一番すごい、伝えたいと思ったものを選び、それが伝わるような問いをつくることを確認する。  ・植物博士になって、３年生に植物の知恵を紹介するために、どんな問いにすると良いかを話し合う。  ・問いの文型「どうして～でしょう」等いくつかの形を確認する。  学習のめあて　　どんな問いがいいかな？どんな答えになるかな？ | 思判表❷　①答えが書かれている段落から重要な語を抜き出すことができる。  **〈おおむね満足〉**  一番すごいと思った知恵を伝えるための問いを立てそれに答えることができている。  **〈十分満足〉**  　 交流することを通して、考えを付け加えたり、書き直したりできている。  　（ワークシート） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  問いを作る。★個→ペア  ４　ステップ  問いの答えを見つける。  ★個→ペア  ５　ジャンプ  すごいと思った知恵が伝わる問いと答えになっているか交流する。★ペア（交流散歩） | ・必要に応じて、交流しながら学習が進められるように、同じ植物のグループを作れるようにしておく。  ・問いの形になっているかに気を付ける。  〇問いの答えを見つけるためには、どうしたらいいのかな？  ・必要な情報を選ぶ手順を確認する。  ◇重要な語や文を抜き出す力  ・交流の目的を確認する。  この問いや答えで伝わるか確認するための交流。  ・交流で使ってみようの掲示を確認し、言葉が使えるように声かけする。  ・友だちの考えで、付け加えたり、書き直したりしていく。 |
| まとめ（　）分 | ６　まとめ  ７　ふりかえり | まとめ　それぞれのワークシートにまとめる。  視点問いに対する答えはどうやったら見つけられたか。  　（手がかりになった言葉、友だちの考えなど。） |

(1) 展開（11／13時間）

①　目標　　すみれと自分の選んだ植物の共通点・相違点について考える。

② 本時の授業の工夫　　知恵カードを見比べながら共通点・相違点を見つけ、くらべっこボードに出し合った後で、くらべっこシートにまとめる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問　◇手がかりとする情報と情報との関係 | 評価項目(方法) |
| 導入 六分 | 1　単元のゴールを確認する。  ２　本時のめあてを立てる。 | ・言語活動のゴールに迫るための学習であることを再確認する。  ・共通点、相違点を気づく視点を持つ。  めあて　　自分の選んだ植物の知恵は、すみれの知恵と同じかな？違うかな？ |  |
| 展　　開　　三 十 三　分 | ３　ホップ  すみれと選んだ植物の知恵の共通点・相違点を見つける。　★グループ  ４　ステップ  すみれと選んだ植物の知恵の共通点・、相違点について話し合う。　★グループ→個  ５　ジャンプ  すみれと選んだ植物の共通点・相違点をまとめる。 | ・比べる際の手順と知恵カードに共通点には赤、相違点には青の線を引くことを確認する  C:\Users\naomi\Pictures\2019-06\00000 (1)_Moment(2).jpg・グループで交流しながら、気づいたことをくらべっこボードに書き出し視覚化していく。  ◇共通点・相違点に気づく力・  ・くらべっこシートにまとめること  で、共通点・相違点を整理する。  それを本時のまとめとする。  〇自分の植物の同じ知恵、違う知恵と比べながら聴いてくださいね。  ・２つのグループの発表を基に、同じ知恵や違う知恵を出し合う。  ・板書にそれぞれの植物の共通点等が比較しやすいようにまとめる。 | 【知・技】  すみれと自分の選んだ植物の知恵を見比べて共通点・相違点をまとめている。１  <おおむね満足>  すみれと選んだ植物の知恵を見比べて、共通点・相違点が抜き出せる。（くらべっこボード） |
| ま　と　め　　　六　分 | ６　まとめ  すみれと５つの植物の知恵の  くらべっこを通して気づいたことを話し合う。  ７　ふりかえり  ８　次時予告 | ・自分の選んだ植物に対するまとめは、くらべっこシートにあるため、  ここでは、すみれと５つの植物の共通点に着目させる。  〇すみれと５つの植物をくらべてみよう。同じ知恵はいくつあるかな？  ・５種類の植物に共通する知恵から、植物が仲間を増やすために知恵を働かせていることに気づく。  まとめ　すみれと５つの植物の同じ知恵は、  　・仲間を増やすため　　・たねでふえること    ・他の植物はどうかという問いをもたせることで、図書館の植物の本に  興味を持たせる。  〇すみれと５つの植物を比べてみて、どんなことが分かりましたか。  視点　共通点・相違点を見つける中でわかったこと、わからなかったこと（手がかりになった言葉、友だちの考えなど。） | 〈十分満足〉  すみれと選んだ植物の知恵の共通点・相違点をワークシートにまとめている。  （くらべっこ  シート、まとめ） |

（1）展開（12／13時間）

①　目標　　共通点、相違点を相手に伝えるにはどうすればよいか交流する。

②　本時の授業の工夫　　話し手は聞き手に伝わるように知恵カードを示しながら話すようにする◇共通点・相違点に気づく

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問  ◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | 1　言語活動のゴールについて確認する。  2　本時のめあてを立てる。 | ・これまで読み取ってきた植物の知恵を３年生に伝えるという目的を想起させる。  学習のめあて　　どうやったら伝わるのかな？ | 思判表❹　➁共通点・　相違点に着目し、自分　の考えを伝えることが　できる。  **〈**おおむね満足〉  　自分の選んだ植物の知恵やすみれとの共通点や相違点をわかりやすく伝えている  **〈十分満足〉**  　　聴き手に伝えるための方法をまとめに書けている。  　（まとめ、ふりかえり） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  　　相手に伝わる話し方について話し合う。  ４　ステップ  発表の練習をする。  　　★ペア→交流散歩  ５　ジャンプ  発表会をする。 | ・声の大きさ、目線、ワークシートを見せ指し示すなど、発表する際に気を付けたいことを出し合えるようにする。  ・話す際に順序を表す言葉や接続語を使うことで、聴き手にとって何を話すのかがわかりやすくなることを伝える。  ・友だちの発表を聴いたら、良かった点や改善点を伝えられるようにする。そのために、聴き手の視点を持たせておく。  　声の大きさ、ワークシートの見せ方、話す順序  ・別の植物同士が集まるグループを作っておき、植物の知恵を共有できるようにする。 |
| まとめ（）分 | ６　まとめ  まとめ　　相手に伝えるためには、　　　　　　　　　　　　　　　します。  ７　ふりかえり | 視点　次時の発表会に向けての気持ちなど。 |

（1）展開（13／13時間）

①　目標　　単元を通して学んだことを三年生に伝える。

②　本時の授業の工夫　　発表が聴き取りやすいような場の設定を行う。

◇共通点・相違点を伝える　★ちえカード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動学習活動（★交流活動） | ・指導上の留意点　　〇発問　◇手がかりとする情報と情報の関係 | 評価項目(方法) |
| 導入（　　）分 | 1　３年生に向けて、これまでの学習過程や発表会の持ち方について説明する。    2　本時のめあてをたてる。  学習のめあて　　３年生に植物の知恵の何をどうやって伝えるのかな？ | ・本時の交流の目的を３年生にも理解してもらえるようにする。  ・交流の目的をめあてにする。 | 主㋒　➁知恵や共通点・相違点等を三年生に伝えることができる。  〈おおむね満足〉  選んだ植物の知恵を指さしながら伝えている。友だちの発表を聴き方名人で聴いている  **〈**十分満足〉  自分の選んだ植物と友だちの選んだ植物の知恵の共通点や相違点に気づいている。    （発表、  ワークシート） |
| 展　　開　　（　　）分 | ３　ホップ  　　２年生が発表する。  ４　ステップ  　　３年生が質問や感想を伝える  　　それぞれの発表に１人ずつ。  ５　ジャンプ  　　全体で感想を伝え合う。 | ・互いに４人グループを作り、１２分間で発表を行う。２回できるようにする。  ・ホップとステップを交互に行い、全員が発表できるようにしたい。  ・発表が苦手だと答えていた児童へは、多めに練習するなど支援しておく。  ・発表しやすいように、ワークシートを友だちに持ってもらう方法も伝えておく。 |
| まとめ | ６　ふりかえり | 視点　これまでの学習をふり返って思ったこと、感じたこと等。 |